



『家族介護者教室』のご案内



「絵の効用で認知症予防」～描いて、書いて、こころスッキリ～

新型コロナによる外出が自粛される中、皆さんはいかがお過ごしですか？ご友人や離れて暮らすご家族ともなかなか会うことができず、引きこもってしまっている方、変化のない生活で認知症が進んでしまう方も多くおられます。今回は、思考や感情、指先を使うことで脳を活性化する「絵手紙」について一緒に学ぶ動画を作製しました。

【配信日】令和3年10月29日（金）から

【発信】YouTube チャンネル

「浴風会病院 認知症疾患医療センター」

【内容】①ミニ講話「作画と認知症予防」

▼センター長 精神科医 古田 伸夫

②実演：「絵手紙のコツと楽しみ方」

▼絵手紙指導 仲井 義晶 氏

③談話：「自身の作画から効果を振り返ってみる」

▼レポーター：精神保健福祉士 高橋 智哉



【申込み】浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター

☎5336-7790

※申し込み後に、サイトのURLと資料を送付いたします



～ 家族介護者教室 ミニレポート ～

今年度から、私たち認知症疾患医療センターのチャレンジとして、コロナ禍に左右されない方法での実施を検討した結果、YouTube チャンネルを作成し、外出自粛中でも区民の方々に安心・安全に観てもらえるようオンライン配信を始めました。

全て、職員による初めての自主製作にてなかなかうまくいかないことも多いですがぜひ温かい目で応援いただけたらさいわいです。

写真は第1回の「適切なウォーキングで心晴れやか地元散策」の撮影の様子です。



認知症疾患医療センター職員の「おすすめ書籍」ご紹介コーナー

今年度は、認知症を持つ家族を介護する方々からリクエストいただいた、「認知症に関するおすすめの本」をご紹介するコーナーを設けています。4冊目の今回は、「認知症の介護に役立つハンドセラピー」のご紹介と職員の読んだ感想を掲載しました。



手には不思議な力があります。触れることで、お互いの心が通じ合い、痛みが軽くなったように感じることもあります。触れることの利点を生かしたケアがハンドセラピーです。認知症高齢者の方にハンドセラピーを取り入れると、呼吸がゆっくりになり、心が落ち着いてきます。(amazonより)



監修：鈴木みずえ
出版社：池田書房
価格：1,320円(税込)



スウェーデンで開発された認知症ケア「タクティールケア」の考え方にに基づき、手で触れることで不思議な力が働くということを解説しています。「表情・行動が落ち着く」「コミュニケーションがとれる」「眠りに誘う」など、患者さんにも介護者にも癒しの効果があるのが魅力的に感じました。専門職の人だけでなく、家族もできるよう、プロセスを写真でわかりやすく丁寧に解説されているのがわかりやすかったです。



浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター
 【所在地】〒168-0071
 杉並区高井戸西1-12-1
 【連絡先】TEL: 5336-7790
 FAX: 5370-5006
 【窓口時間】平日 9:30~17:00
 ※土・日・祝日休み

《交通のご案内》

【京王井の頭線】
 ▼富士見ヶ丘駅 徒歩7分 ▼高井戸駅 徒歩9分
 【JR 荻窪駅南口より 関東バス】
 ▼『芦花公園駅行』 ▼『北野行』
 ※いずれも『浴風会前』下車 徒歩8分